

## 第3章 自殺の実態からみる重点的に取り組む対象

### 1 足立区の自殺の特徴

#### (1) 男性の自殺の特徴

- ① 60代以上の自殺者のうち同居人がいない人の割合が高い
- ② 80代以上の割合が増加傾向である
- ③ 原因・動機は、「健康問題」「経済・生活問題」が多い

#### (2) 女性の自殺の特徴

- ① 40代・50代の自殺率は全国と比べて高い
- ② 原因・動機は、「健康問題」「家庭問題」が多い
- ③ 約3割に自殺未遂歴がある

#### (3) 若年者の自殺の特徴

- ① 20代女性を除き、男女とも10代から30代の死亡原因の1位は自殺である
- ② 孤立の恐れが高い不登校児童・生徒数が年々増加している
- ③ 全国の小中学生の自殺の原因・動機は、「家族からのしつけ・叱責」「親子関係の不和」が多い

### 2 国から提供された足立区の自殺の特徴

国から「地域の自殺の特徴」として示された足立区の自殺の実態は、以下の通りです。性、年代、職業、同居人の有無から自殺者数が多い5つの区分が示されました。

足立区の子な自殺の特徴 警察庁自殺統計 住居地・自殺日 H24～28 合計、国勢調査

上位5区分	自殺者数 5年計	割合	自殺率 (10万対)	背景にある主な自殺の危機経路
1位: 男性 60歳以上 無職独居	81	10.4%	133.6	失業(退職) + 死別・離別 → うつ状態 → 将来生活への悲観 → 自殺
2位: 女性 60歳以上 無職同居	73	9.4%	22.6	身体疾患 → 病苦 → うつ状態 → 自殺
3位: 男性 60歳以上 無職同居	71	9.1%	40.4	失業(退職) → 生活苦 + 介護の悩み(疲れ) + 身体疾患 → 自殺
4位: 男性 40～59歳 有職同居	53	6.8%	15.3	配置転換 → 過労 → 職場の人間関係の悩み + 仕事の失敗 → うつ状態 → 自殺
5位: 女性 40～59歳 無職同居	52	6.7%	24.6	近隣関係の悩み + 家族間の不和 → うつ病 → 自殺

出典：自殺総合対策推進センター

### 3 区において重点的に取り組む対象

足立区の自殺の実態を分析した結果や、国から示された「足立区の自殺の特徴」から、今後、重点的に自殺対策で取り組むべき対象を以下の通り定めます。

- ① 経済、生活問題を抱え、孤立している60代以上の男女
- ② 経済、生活問題を抱えた30代から50代の男性
- ③ 家庭、健康問題を抱えた40代から50代の女性
- ④ 妊娠期から産後1年までの女性
- ⑤ 生きづらさを抱えた10代から20代の若年者